



ヒメイワダレソウとは…？



可愛い花で、手軽にグランドカバー化が可能です。
草丈が低く、(5~7cm)根が40~80cmと深く伸びるので、こまめな散水は不要。
道路・水路・お庭の雑草対策等にも活用され、さまざまな場所の緑化に適している植物です。



ヒメイワダレソウ：	(学名：Lippia canescens) クマツツラ科の多年草
原産：	海外(東南アジア・南米)
開花期：	5月~10月
休眠期：	12月~3月



- ◆ 定植は春~秋が適しています。定植前は完全に他の雑草を除去して、1平方メートルに4~6ポットを目安に植栽してください。
- ◆ 通常の花苗より少し深めに苗を押し込むように植えてください。特に法面は土流れによる株浮きが起こりやすいので注意します。
- ◆ 日当たりの良い場所が適しています。(最低1日約5時間以上)日陰では広がりません。
- ◆ 定植後、他の雑草が種子の飛来などにより定植地に発生する場合があります。ヒメイワダレソウの隙間から出る雑草の抜き取りを行ってください。(ヒメイワダレソウを残して、雑草だけを枯らせる除草剤はありません。)
- ◆ 生育が良くない場合や葉の色が悪い場合は、市販の緩効性肥料を少量あげてください。与えすぎは肥料焼けの原因になりますのでご注意ください。
- ◆ 常に湿っている、または乾燥している土壌や酸性が強い土壌など、条件によって生育が悪い場合があります。(他の園芸植物よりは広いPH域4.5~9で育ちます。)
- ◆ 定植後被覆するまでは、乾燥に注意してたっぷり水やりをお願いいたします。
- ◆ 被覆のスピードは、梅雨明けごろから勢いを増します。
- ◆ 被覆後は踏圧に強く、適度に踏まれた場所は葉が細かく密度が高くなります。その際、花はあまり咲きません。
- ◆ 草丈が少し高くなり始めた場合、早めに手押し芝刈り機など刈りやすい方法で早めに刈り込みます。花が必要ない場合も同様にします。刈りカスからも根が出ますので、5センチ程度にカットしてポット苗の間に撒いて、目土を3ミリ程度施し、2週間湿った状態を維持しますと、広がりが早くなります。
- ◆ 伸びてはみ出た端の部分は、ハサミなどで簡単にカットできます。この作業でより美しくなります。
- ◆ 秋植えの場合、活着させて冬越しさせた後、翌春広がります。(根がきちんと活着しないうちに休眠期に入りますと、枯れる恐れがあります。)
- ◆ 冬の休眠期は、葉が茶色く枯れたような景観になります。休眠期前に一度刈り込み等のお手入れをしておくと、冬季の見栄えが良いです。春になるとまた緑の葉が芽吹き、初夏から盛夏にかけてかわいらしい花が一面に広がります。

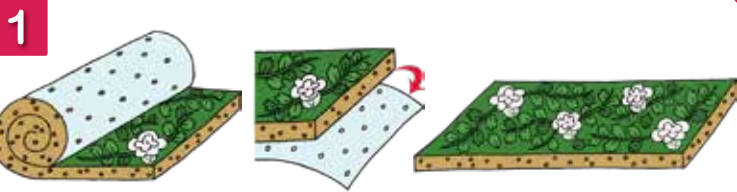




まずはじめに…

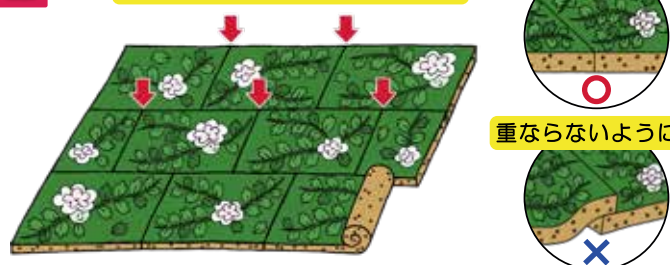
あらかじめ雑草や小石等を除去し、凸凹がなくなるように整地します。

花マットの場合



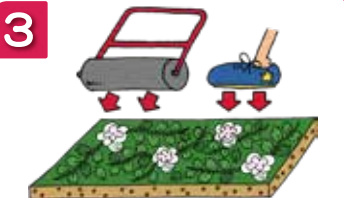
1 花マットを箱から出し、ビニールを剥がして、花マットを植栽したい場所に広げます。

2 つなぎ目をそろえないように敷く **ピッタリとくっつける**

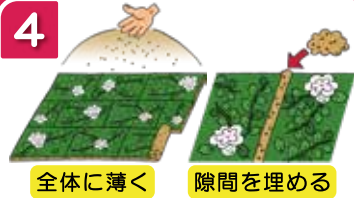


重ならないように!

何枚か植栽する場合は、隙間を開けずピッタリとくっつけます。つなぎ目をそろえてしまうと目地に沿って雨水が流れ、花マットが剥がれやすくなるためオススメしません。

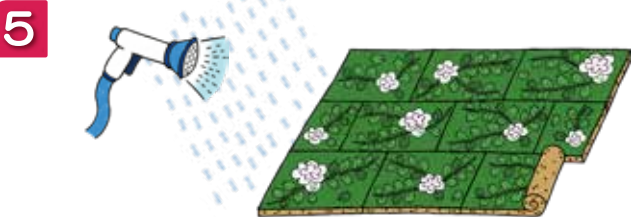


3 板等の平たい物に乗せたり、ローラー等で転圧をして地面と密着させます。



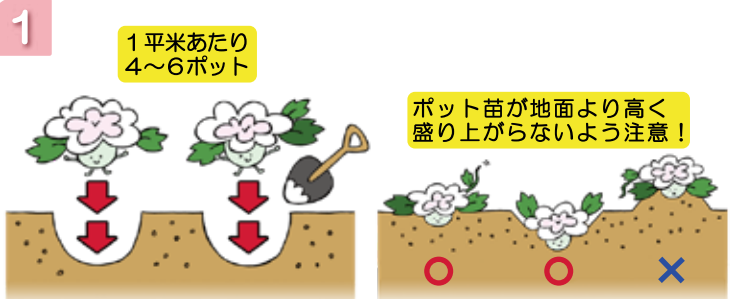
4 全体に薄く 隙間を埋める

砂または土を全体に薄く撒き、つなぎ目を埋めるように目土をします。



5 最後にたっぷり散水します。植栽後2週間は朝・夕の涼しい時間に散水します。

ポット苗の場合



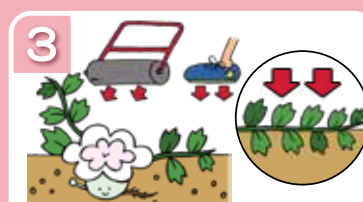
1 1平米あたり 4~6ポット

ポット苗が地面より高く盛り上がりすぎないように注意!

50cm~1m間隔で穴をあけ、ポリポットから苗を取り出して植栽します。



2 最後にたっぷり散水します。植栽後1ヶ月は根付くまで朝・夕の涼しい時間に散水します。



3 匍匐茎が浮いている場合は、踏圧したり踏んだりして地面に落ち着かせます。



4 土に接した茎の節から 新たな芽と根が出てくる。

匍匐茎から根が出て、どんどん広がって行きます。



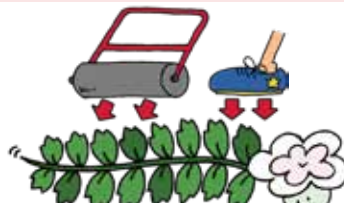
GOAL!

POINT

1 ヒメイワダレソウは転圧されると葉が密になり 雑草抑制効果が高まります。

踏まれたり、転圧される場所

踏まれたり、転圧されない場所



花は少ないが、葉が小さく密集して緻密になるため、雑草抑制効果が高い!



葉は大きい、小さくて可愛い花がたくさん咲きます。

2 普段病害虫等に強いヒメイワダレソウですが、猛暑による蒸れで病気になることがあります。月に一度、少なくとも年に2~3回(開花時期)に思い切った刈り込みをすると、景観が美しくなるだけでなく、病気にもなりにくくなります。

